平成24年度山県市教育センター要覧

『繋（つなぐ）』をキーワードとして、「たくましく生き抜く子」の育成を目指します

山県市教育センター所長　　宮川　誠

本市では、子ども達が「ほほえみ・感動・うるおいにつつまれ、伸び伸びとたくましく育っていくこと」や「美しい心を持ち、ふるさと山県への敬愛の心を持ち続ける」ことを強く願っています。そして、学校が中核となり、ふるさとのよさをつなぎ、学校と地域と家庭とのつながりの中で子どもを伸ばしてきました。

しかし、子ども達をとりまく状況は厳しく、学力の二極化や家庭教育力の低下、少子化と過疎化による児童生徒数の減少、児童生徒数の減少に伴う地域文化の衰退や継続の危機、教職員の高齢化、東日本大震災以来、次々に見直される災害への脅威等々、数多くの問題があります。

私達は、こうした状況から目をそらすのではなく、むしろ新たな飛躍へのチャンスと前向きにとらえ、子ども達に正対していかねばなりません。そこで、本市は今年度、５つの重点を設け「たくましく生き抜く子」の育成を目指します。

授業改善では、引き続き分かる授業の創造を追求するとともに、教員一人ひとりの授業改善力の向上を目指します。小規模校が多くある本市の特徴を最大限に生かした小中連携の歩みだしを図ります。「協育」「共育」「郷育」の三育を推進します。豊富なベテラン力生かし、若手につなぐ「つなぎ塾」等の開設をします。そして、自分の命は自分で守り、命や営みを未来につなぐ危機管理能力を高めます。

平成２４年度は、こうした５つの重点を踏まえながら、本市における教育の拠点となる教育センターを目指します。大いにご利用ください。

平成 24 年度の重点　　つ　な　ぐ

１　基礎学力定着支援事業の成果をつなぐ	分かる授業の創造
２　小学校と中学校をつなぐ	小中連携
３　ふるさとのよさをつなぐ	三育の推進
４　ベテランから若手につなぐ	ベテラン力の活用
５　生命や営みをつなぐ	危機管理能力の育成

平成２４年度教育センター事業

Ⅰ　研　修

１　ベーシック研修

	名　　称	内　　容	対象	月　日
1	新規採用教員研修会	新規採用教員としての基本的な研修を行う。	新規採用教員	6/12　7/10 8/21　1/31
2	２年目研修会	採用２年目の教員が互いの実践を交流したり課題を追求したりすることを通して、一層の資質の向上を図る。	採用２年目の教員	8/10　10/17
3	３年目、６年目合同研修会	教職１校目の教員と２校目の教員が実践交流をし、今後の教員としての在り方を考える。	採用３年目の教員 採用６年目の教員	8/20
4	新赴任者研修会	山県市に初めて赴任する教職員が、市全般について学び教育に生かす。	新赴任者	5/25　1/31
5	「防災教育」担当者会	喫緊の課題である地震等から児童生徒の生命を守るための指導内容・方法を立案する。	教頭会	4/19　6/5 8/7　1/17
6	教科・各種研修会	各教科、道徳、特別活動、特別支援教育等の授業研究などの研修をする。	全教職員	4/23　6/15 8/23　8/24 11/19　2/22
7	学習支援員・教育サポーター研修会	支援員の在り方や資質の向上を図る研修をする。	学習支援員・教育サポーター	4/16　9/5 1/16
8	特別支援コーディネーター研修会	特別支援コーディネーターの資質の向上を図る研修をする。	特別支援コーディネーター	5/28　8/9 1/18
9	読書指導員研修会	図書司書としての職務及び読書指導の研修をする。 第１回目は図書館担当教員も参加する。	読書指導員	6/14　8/8 2/8
10	講師研修会	児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得する。	講師	7/25
11	給食調理員研修会	給食調理員の資質や技能の向上を図る研修をする。	給食調理員	4/6　8/21
12	剣道実技講習会	武道（剣道）指導の基礎と実技を学ぶ。	小中学校体育科指導教員等	8/9

２　マイニーズ研修

	名　　称	内　　容	対象	月　日
21	各教科・領域などに関する研修会	今日的な課題を解決する力を身に付け指導力を高める。	教職員希望者	7/24　7/27 8/2　8/6
22	野外活動体験研修会	グリーンプラザを活用したプログラムを研修する。	教職員希望者	5/7

３　リコメンデーション研修

	名　　称	内　　容	対象	月　日
31	学校づくりコンサルタント	学校が希望する指導者を講師として招き、学校経営の助言を受ける。	各校管理職	希望日
32	学校管理運営研修会	学校管理運営や管理職の在り方等について研修する。	リーダー的立場の教員	7/26　10/25 2/4
33	ネットワーク研修会	テラステーションを活用し、研究の情報や内容を交流・共有し、研修を深める。	教職員	随時

Ⅱ　調　査　・　研　究

	名　　称	内　　容	対象	月　日
41	教育研究実践論文・自作教具	教育研究実践記録・自作教具の募集を行い、主体的な研究実践の奨励をする。	教職員	1次審査　1/17 2次審査　1/18
42	指導員会	6つの教育実践を中心に、市教研・校内研究における指導・助言にあたる。 夏休みに専門教科に関する講座を開く。	指導員 教職員	5/17　7/23 2/13 夏休み他随時
43	スタートカリキュラム研究会 （幼保小の連携を求めて）	小学１年生が無理なく安心して学校生活をスタートできるカリキュラムを作成する。夏休みに１年担任全員の会を開催。	カリキュラム研究員	5/14　8/3 2/21
44	つなぎ塾	指導方法や教師としての在り方、人とのかかわり方、地域のつながり等について伝えていく。	教職員	5/29 夏休み他随時
45	小中連携研究会	小、中学校で共通に取り組む活動や規則の洗い出しをし、歩み出しをする。	教職員	随時
46	社会科副読本作成委員会	各校の授業に資するように、山県市の文化・自然・社会の教材化を図る。	作成委員	5/11　8/7 11/9　2/5
47	教育の進化を求めて（教育懇談会）	市の学校教育に関する幅広い意見や提言をいただく。	市民代表	11月

Ⅲ　情報収集　・　発　信

51	教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
52	図書、月刊誌、研修冊子、指導案	センター図書として蔵書
53	テラステーション	市教研、校内研の授業案、社会科副読本等のデータ
54	教育センターだより「いしずえ」	センター関連記事の掲載
55	なんでも相談コーナー	教育関連の相談事
56	図書貸出	各学校で共通活用できる図書の貸出

Ⅳ　教　育　相　談

1　適応指導

趣旨

不登校の児童生徒に対し指導･援助を行い、自立を支援することによって、学校生活への復帰を図る。

①　生活指導員による支援

教室　　コスモス教室　　山県市教育センター内　　ＴＥＬ：５２－１００７

日時　　月曜日～金曜日　午前9時00分～午後3時30分（基本）

②　教育相談員による支援

各学校の実態に応じ教育相談員を派遣し教育支援を行う。

2　電話相談

趣旨

学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。

窓口　教育センター　コスモス　ＴＥＬ：５２－１５７１

日時　月曜日～金曜日　午前9時～午後3時30分

3　教育相談研修会

趣旨

不登校の児童生徒の自立を支援するために、関係者が連携を密にして、よりよい指導･援助の充実を目指す。

研修会

61　●生活相談員・教育相談員研修会　１２回

62　●生活相談員・教育相談員・学校教育相談担当者研修会　３回（4/25　9/26　1/25）

Ⅴ　児童生徒対象

	名　称	内　容	月　日
71	夏休み作品相談	電話で相談を受け付け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を目指す。	夏季休業中
72	夏休み作品展 夏休み作品表彰式	優れた作品の表彰を行うと共に作品展を行い、教科学習の促進を図る。	9/15～17 表彰式9/15
73	夏休み作品づくり	楽しい作品を作る。	夏季休業中
74	陸上記録会	陸上競技への関心と記録向上への意欲を高める。	10/20
75	音楽会	音楽表現を聴き合うことを通して、音楽活動への意欲を高める。	11/2
76	子どもの市展	作品のもつよさや美しさにふれ、表現意欲を高める。	11/21～27
77	山びこ	体験したことや考えたことなどを書き表し、伝える力を身に付ける。	5/21　11/30 1/23

Ⅵ 共 通 物 品

教 材 教 具	和太鼓（８台）
教 育 機 器	大型インクジェットプリンター「カラー　Ａ１ノビ」（１台） ノートパソコン プロジェクター スクリーン
諸 検 査 用 具	ＷＩＳＣ－Ⅲ知能検査器具　　ＷＩＳＣ―Ⅲ知能検査記録紙 グッドイナフテスト　　箱庭療法用具 Ｓ―Ｍ社会生活能力検査用紙
ＶＴＲ	●人権教育・・・・・・「歌いたい歌がある」 「ラストから始まる」 ●薬物乱用防止教育・・「ＤＲＵＧ」 「薬物乱用教育」 ●学校給食衛生管理・・「ドライ運用の鍵は人」 ●家庭教育・・・・・・「すばらしき思春期」　「ゆっくり、ゆったり」 「子どもとしつけ」　「頑張れ、お父さん」 「家庭教育手帳」　「家庭教育ノート」 「ママとパパに贈るメッセージ」 「子どもの声に耳をすませて」 「地域こぞって子育てを」
教 科 書	小中学校の検定教科書　(各社)
児 童 図 書	大型絵本など
ゲームなど	屋内用ペタンク　グランドゴルフ　もちつき用具（臼、杵）　焼き杉用具 ペタンク　キャンドルサービス用具　など

センター職員

所　長（学校教育課長）	宮川　　誠
次　長	土田　千隆
主任学習支援員	大野　博和
主任教育相談員	林　　哲也
課長補佐（学校教育課）	森川　勝介
課長補佐（学校教育課）	高井　俊哉
課長補佐（生涯学習課）	横山美由紀

教育相談員

奥田　義典　　井藤　康子

生活相談員

大西　博之　　村瀬　　文　　佐野久美子　　石橋恵美子

沿革

平成１５年度	●山県市教育センター設置
平成１６年度	●センター次長配置
	●相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
	●山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
	●センター広報誌『いしずえ』初版発行
平成１７年度	●新規１５事業開設
平成１９年度	●事業の整理統合、新規２事業（学校教育）
平成２０年度	●事業の整理統合、新規７事業（教職員研修）
平成２１年度	●学校地域支援本部との連携
平成２２年度	●センター移転（旧富波小へ）
	●適応指導教室『コスモス』統合
	●大研修室にエアコン設置
平成２３年度	●主任教育相談員、主任学習支援員配置
	●２階研修室にエアコン設置

山県市教育センター

〒５０１－２２５７
岐阜県山県市富永４９５番地
ＴＥＬ．　０５８１－５２－１００７
ＦＡＸ．　０５８１－５１－００３０
E-mail.　k-center@yamagata-gifu.ed.jp